

北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

湿地を訪れた方々は?

北山湿地では来訪者の方々にアンケートのご協力をお願いしており、湿地入口には用紙と投函ポストが用意されています。その結果をまとめてみました。
昨22年は回収されたアンケート数が少なく、集計をとり止めたのですが、今回、今年回収分と合算して掲載することにしました。
これまで、アンケートにお寄せいただいたご意見を参考にして活動内容を見直してきました。保全優先ですので、できることは限られるかもしれませんが、今後も来訪者の方々のご意見をできる限り尊重していきたいと思っておりますので、湿地を訪れるたびに一言でもよいのでお書きいただけますと幸いです。※岡崎市自然共生課による集計、〈 〉内は平成21年のデータ。

【集計期間】平成22年5月～23年9月【回答数】40人(=22年20人、23年20人)〈11人〉【性別】男性23人〈6人〉女性17人〈5人〉【年齢】20歳未満2人〈0人〉20代1人〈1人〉30代4人〈1人〉40代5人〈4人〉50代8人〈4人〉60代12人〈0人〉70歳以上8人〈0人〉【どちらから来たか】岡崎市内24人〈6人〉岡崎市外16人(=静岡市1人、幸田町2人、安城市4人、みよし市1人、豊川市2人、田原市1人、名古屋市4人、半田市1人)〈3人〉【北山を訪れ

たのは何回か】初めて26人 2回目3人 3回目以上10人〈21年のデータなし〉【北山湿地を何で知ったか】知人から7人〈4人〉ホームページ10人〈1人〉新聞・雑誌6人〈3人〉その他15人〈1人〉観察会2人〈0人〉【北山湿地の良い点・好きな点(複数回答)】花25人〈4人〉生き物5人〈6人〉樹木15人〈2人〉ミズゴケ15人〈4人〉整備状況11人〈1人〉その他3人〈1人〉【北山湿地の悪い点・改善すべき点(複数回答)】トイレ11人〈2人〉看板7人〈3人〉駐車場7人〈4人〉木道2人〈1人〉その他2人〈1人〉※「主なご意見・ご感想」は来月号に掲載します。

北山湿地を守る活動

【9月の作業内容(17日(土)9時～正午)参加10人】①湿地入り口～やなが沢池にかけての散策道に大雨による表土流失を防ぐための排水路整備②同散策道沿いのササ刈り
10月。秋へと移り変わる北山湿地では、目に付く花はめっきり少なくなりましたが、ミズギク、スイラン、サワシロギクなどががんばって咲いています。よく探すとツルリンドウの愛ら



排水路の整備(石を敷き詰める)



アケボノソウ(北山)
メモドキの真っ赤な実が実に鮮やか。クロミノニシゴリの実も名の通り黒く色づ

いてきています。

北山湿地 秋の観察会

10月22日(土)、北山湿地で自然観察会を開催します。講師はおかざき湿地保護の会。専門家のようにうま



くできませんが、丁寧



ウメモドキ
切りは10月17日と差し迫っています。問い合わせは

岡崎市自然共生課自然保護班(本紙欄外に連絡先記載)まで。
【時間】9時～正午(雨天延期、翌23日)【集合場所】北山湿地駐車場【持ち物など】筆記具、メモ帳、飲み物、ハイキングのできる服装、長靴【定員】30人(抽選)【申し込み】はがき、Fax、Eメールで「北山湿地観察会」・郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入、同班あて。

《鳥川ホテルの里 山歩きイベント》自然豊かで眺望抜群の山々や「平成の名水百選」に選ばれた湧水群をめぐる。4コースあり◆10月22日(土)8時45分～13時30分◆旧鳥川小学校集合、スタート◆定員先着150人◆弁当、飲み物、タオル、山歩きの服装・靴◆森の総合駅まで電話で申し込み。※森の駅11月のプログラムは同ホームページまたは市政だより10月15日号をチェック。

生物多様性に向けた取り組み

岡崎市自然共生課は現在、「生物多様性おかげ戦略(案)」に対するパブリックコメント(意見・情報等の募集)を実施しています。

同戦略案は、平成20年度の岡崎市自然環境保全条例制定や愛知県による自然環境保全戦略の策定を受け、翌21年度より今年度まで、3カ年にわたり将来像や施策、目標などを検討してきたものです。

その将来像は「多様な自然と豊かな暮らしが次世代へと引き継がれる環境共生都市・岡崎」。



ヒヤマウスラ(小鈴草)

市内の生物多様性を保全するのみでなく、これと調和した経済・社会システムを構築・発展させることにより、将来にわたって生物多様性の恩恵を受けることが目標です。50年、100年かけて自然環境を再生させ、100年、200年と持続可能な生物多様性の利用を目指すとしており、2050年までの行動戦略と具体的施策が示されています。【意見の提出期間】～11月7日まで【閲覧場所】市役所市政情報コ

ーナー(西庁舎1階)、自然共生課(福祉会館5階)のほか、市ホームページの市政情報「パブリックコメント」でも可能【提出方法】住所・氏名・連絡先を記入。直接持参または郵送・Fax・Eメールで同課まで。市ホームページの電子申請総合窓口からも可能。



イタドリの花に

10月1日(土)、愛知学泉大学豊田キャンパスで開催された「西三河生態系ネットワークフォーラム」。新聞報道によれば学生や市民、研究者ら約100人が参加したとか。おかげ湿地保護の会会員は、なぜか「招待席」に座るという厚遇を受けました。西三河におけるあらゆる産業と市民、行政が、お互いの利害を乗り越え垣根を払って生態系の保全に取り組み、なおかつそうした活動がビジネスとして地域の経済を発展させ、それぞれが自然環境から得られる利益を将来にわたり享受できる新しい地域作りを目指す——。専門的で堅いテーマですが、描かれる未来像には夢があり、実現への期待と意欲が高まる内容でした。

きたやま歳時記⑮

不思議な植物の名前④

植物の名前の中には、小さいから、人の役にたたないから、人が食べられないからなど単純な理由で付けられた名前もあるようです。

みなさんによく知られているものをいくつか並べてみました。

今回は極々わずかな、気になった植物の名前をあげてみました。これは私が思うだけで皆さんの思いはそれぞれだと思います。いずれにしても植物にもそれぞれ特徴があり、自分を主張しているようです。それを受け止めるには、個々を細かく観察してじっくり向き合ってみることが大事なことだと改めて感じた次第です。

そのためにも北山湿地は大切な場所だと思います。みんなで大切に守りたいものです。(文と写真/おかげ湿地保護の会 古本峯夫)



イヌツゲ(天黄楊)



イヌザンショウ(天山椒)



ゴンズイ(権葎)



スズメノエンドウ(雀野豌豆)



ヘビイチゴ(蛇母)

豊田市のプログラムも一部ご紹介。◆《秋の矢並湿地観察会》11月6日(日)9時30分～正午。講師は豊田植物の会。定員は20人。赤く色づいたヘビノボラズの実やウメバチソウなどを観察。◆《講演会「ナラ枯れ問題を考える」》岡崎市でも問題になっているカシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ」についての勉強会。11月20日(日)10時～正午。参加無料。講師は豊田市森林課職員。定員30人。◆それぞれの参加申し込みは、観察会は10月27日、講演会は20日から豊田市自然観察の森で電話受け付け。先着順。(☎0565-88-1310)